

学 校 教 育 目 標	～知・徳・体の調和のとれた子～ かしい子 心の豊かな子 たくましい子 （不易）
目 指 す 学 校 像	◎笑顔のもとに笑顔が集まる学校 ◎礼節を重んじ、磨き合い・学び合い・高め合える学校 ◎安心、信頼、働き甲斐のある学校
重 点 目 標	1 主体的に目標を設定し責任ある行動がとれる力（エージェンシー）をはぐくむ教育活動の推進 2 他者と豊かにかかわり、節度ある児童の育成とWell-beingを大切にする児童の支援体制づくり 3 本校に根付いているスクール・コミュニティをさらに深化向上させ「本太小愛」の醸成を図る 4 安全で美しい教育環境の整備、防災の観点から危機意識を醸成した環境整備の推進 5 教職員の凝集性を高め、誇りと働き甲斐を感じる学校づくりによる働き方改革の推進

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数共に全国、市平均と比べ良好な結果である。また、単元ごとに実施しているワークテスト等の評価テストの結果も 90％程度の高い達成率を示している。 ○自ら課題を見出し、ICT 等の多様なツールで解決しようとする態度と能力が身に付いてきた。 (課題) ○全国学力・学習状況調査の分析から、難しい問題に対して、最後まで諦めずに解決しようとする根気強さがやや欠ける傾向が見られる。	○学びの自立と探求的学びを推進する ICT の効果的活用 ○自ら学習課題を設定する主体的な学びの推進	①全国学力・学習状況調査の振り返りや単元ごとのワークテスト等を通して、自らの学習課題を見出し、解決策を探れるよう学びの自立を深化させる ②各教科の授業でデジタルの優位性を生かせるような授業実践にチャレンジし、個別最適で探求化な学びの在り方について探っていく	①児童が自己採点の結果を基に、自らの学習状況を把握し、自分に合った目標を立て、達成に向けて主体的に学びを進めることができたか ②学校評価において、主体的な学びに関連する項目で85％以上の児童が肯定的な回答をしたか					
		○SSSPを活用した授業改善の推進	①スクールダッシュボードの日常的な活用により、児童の実態に応じた学びを確立できるようにする ②GIGA部を充実させ、授業活用と環境整備の両輪を加速させる	①スクールダッシュボードの活用方法を教職員で理解し、授業に反映できるようになったか ②ICT 活用の児童アンケートの結果が全校級で昨年度を上回ることができたか					
2	(現状) ○不登校傾向の児童が複数名在籍している。必要に応じて、専門機関や学校の専門職とのつながりをもち、対応している。 ○心と生活のアンケートや児童理解研修等を活用し、児童の不安や児童間のトラブル等の生徒指導案件には、迅速な組織対応をしている。 ○報告・連絡・相談・見届けを徹底させている。 (課題) ○児童間のトラブルへの対応方法等を学校全体で共通理解をさらに深め、共通行動できる段階まで高める	○児童一人ひとりが豊かな学校生活を送れるよう保護者と連携した生徒指導・教育相談体制の更なる深化	①スクールダッシュボードを活用して児童の様子を丁寧に的確に把握し、気になる児童については、SCやSSWを含め組織的に対応し、必要に応じて積極的に関係機関とつなぐ ②2年目となる教育計画推進部を中心とした学年間、学校全体への情報共有と対策の検討	①年間30日以上欠席している児童が、前年度に比べ15％以上削減することができたか。 ②学校評価において、「学校を楽しみにしている」という設問に「そう思う」と回答する児童が75％以上になることができたか					
		○迅速な報・連・相による組織対応力を向上させる	①教育相談結果等を学年主任や管理職と情報共有して、常にチーム対応できるようにする	①生徒指導案件や保護者対応について、管理職、学年主任を含めてチーム対応することができたか					
3	(現状) ○学校運営協議会、PTA 本部会・運営委員会、本太スクールネットワーク、SSN、社会福祉協議会、青少年育成本太小地区会、本太公民館運営協議会などを通して、重厚なスクール・コミュニティが形成されている (課題) ○学校運営協議会をはじめとする既存のネットワークを更に深化・充実させ、教育活動の充実を図る ○首都圏直下型の大地震に備え、学校・家庭・地域が連携した防災体制の整備。	○学校、地域、家庭の持続可能な連携・協働体制を深化・充実させる	①積極的に学校教育に関する情報を発信し本校の教育活動に対する理解を深めていただき、学校・家庭・地域の連携をより強固なものとする ②学校行事への参加招聘、保護者・地域行事への積極的な参加	①学校 HP ブログ 校長通信「教育は愛」を週に3日以上更新できたか ②PTA、青少年育成本太小地区会等の地域行事等に98％以上参加できたか					
		○学校運営協議会等における熟議の充実 ○防災に対する熟議の実施	①3校合同の実践的な引き渡し訓練を実施し、その様子について、学校・保護者・地域で熟議し、首都直下型の地震への備えをさらに充実させる	①3校合同の実践的な首都直下地震を想定した避難訓練・引渡し訓練ができたか。その振り返りを3校の間で行い、各校及び地域の防災意識を向上させることができたか					
4	(現状) ○マイスクールファンドを活用し、防犯カメラや防犯ブザーを整備し、学校の安全度を向上させている。 (課題) ○近隣樹木の倒壊や枝の落下等の危険が懸念される	○けがマップを活用し、けがが多発している箇所の安全対策を図る	①日々の点検で危険箇所を早期に発見し教育委員会と連携を図りながら安全措置を速やかに行う。	①毎月10日に実施している安全点検の結果を学校全体で情報共有できたか また、危険箇所発見時には、速やかに改善または市教委へ相談できたか					
		○自治会や育成会と危険箇所の対応策を熟議する	①自治会と連携した危険が懸念される近隣樹木の伐採を行い、学校の安全度を高める	①校舎に隣接している巨大ケヤキの伐採を行い、学校の安全度を向上できたか					
5	(現状) ○教育に対する愛と情熱を持つ教員が多く、昨年度から始めた1人1テーマの学校課題研修に意欲的に取り組んでいる。 ○校長の学校経営方針を踏まえ、学年主任等の主任を中心に、主体的な学年運営がされている。 (課題) ○教職経験が浅い若手教員の授業力を児童・保護者のニーズに応えられるよう向上させる ○本音で語り合える真の「和」を職場に構築する	○学校経営方針を踏まえ、各学年主任等が創意工夫する楽しさの実感	①「研究は個業」という理念のもと、自主的・主体的な研修を推進する ②学年主任等のマネジメント裁量を拡大し、失敗を恐れず、チャレンジ精神を持って教育活動を推進し、仕事へのやりがいと学校の創意・工夫を推進する	①教員のキャリアや特性を生かした本校独自の校内研修で全員が研究発表できたか ②学校評価における「授業の工夫改善」の項目において、肯定的な回答が80％以上になったか。					
		○教職員の明るく肯定的な人間関係の構築による働き方改革の推進	①遠慮なく本音で話し合える人間関係の構築を目指し、風通しの良い、真の「和」に包まれた職場として働き方改革を推進する	①学校評価にいける「教職員の働き方改革に向けた取組が適切に行われているか」に「そう思う」と回答した教職員が45％以上にできたか					